

福山市立培遠中学校第2学年 英語科学習指導案

単元名 : Unit 5 Universal Design

日時・場所 2017年(平成29年)11月17日(金) 南校舎3階 多目的教室
 学年・学級 2学年2組(男子17名 女子17名 計34名)

単元について

本単元は、中学校学習指導要領「話すこと」の「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」を目標とする単元である。また、本単元は「培遠中学校 CAN-DO リスト」の「話すこと：身近で、自分に関わりの深い内容について、会話に参加することができる」ように指導をしていく単元になる。

教科書の題材は「ユニバーサルデザイン」である。ユニバーサルデザインを採用した身近な製品や施設の紹介が扱われている。身近な生活において、あまり知られていなかったことを知ることで、誰しもが暮らしやすい社会の在り方について考える題材となっている。言語材料としては接続詞 if, that, when, because が扱われている。接続詞を使うことでより詳しく伝えることができる。本文で扱われているユニバーサルデザインについて自分の考え、意見や理由を述べている場面を発展させ、身近なものに対して接続詞を使って「自分の意見を理由とともに述べる」ことができるようにする単元として適している。

生徒観

調査結果からみる課題

平成29年度「基礎・基本」定着状況調査

		小問	内容	本校平均	県平均
(実技) 話すこと	1		あらかじめ読んだ文章についての問答	83.5%	80.2%
	2		自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す	63.2%	35.4%
	3	内容構成		78.9%	83.4%
		文法表現		81.2%	81.9%
	4		関心・意欲・態度	98.5%	97.2%

【課題となる力】

- ・日常生活に関する身近な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる力。
- ・接続詞を用いながら、自分の考えに理由を付けて質問に答えたりして、伝え合うことができる力。

【指導上の課題】

- ・自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動が不十分である。
- ・Yes か No で答えるようなやりとりになってしまっており、情報を付け加えることや、相手の考えを聞き出すような指導が不十分であった。

指導観

指導のポイント

接続詞を用いた自分の考えや気持ちの伝え方や相手の考えを聞き出すような表現を理解させ、一方的な会話ではなく伝え合う活動の設定

【指導の工夫】

- ①終末の言語活動では、今年度来日した ALT からメッセージが届くという場面設定を行い、生徒が ALT と「自分の好きなこと(好きな食べ物)」等の話題に関するやり取りを行う活動を仕組む。また、

この活動を3学期に予定しているオーストラリアの提携校の生徒とのやり取りにつなげる。

- ②帯活動では、自分の身近なことについてのチャットを通して、様々な表現の練習を継続的に行いながら、一問一答ではなく、自分の意見や考えを加えたやりとりを定着させる。また、チャットではワークシートを工夫し、接続詞を用いた表現の練習をさせる。
- ③接続詞を用いた文の基礎的・基本的な力の定着を図るために、ICTを利用して、基本文の代入練習を繰り返し行う。

単元の目標と評価規準

- (1) 自分の好きなこと(好きな食べ物)について、意見や理由をつけて伝える。
- (2) ペアワークにおいて間違ふことを恐れず積極的に自分の考えを話す。
- (3) 接続詞 if, that, when, because を用いた文の形、意味、用法を理解している。

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①ペアワークにおいて間違ふことを恐れず積極的に自分の考えを話している。	①自分の好きなこと(好きな食べ物)について、意見や理由をつけて伝えることができる。	/	①接続詞 if, that, when, because を用いた文の形、意味、用法を理解している。

本校で身に付けさせる21世紀型“スキル&倫理観”

課題発見・解決力	★論理的思考力	★コミュニケーション力	実践力
身の回りの様々な課題を見付け、「なぜだろう」と考えながら調べたり聞いたりすることができる生徒	様々な事象の理由や原因を「なぜならば」という言葉を用いて、考えたり話したりできる生徒	TPOにより相手の立場に立って考え、自分の意見を伝えたり、共に行動したりすることができる生徒	身のまわりや地域の課題を見付け、自分たちで解決しようと進んで行動することのできる生徒

★ 本単元で身に付けさせる21世紀型“スキル&倫理観”の重点

単元の終末におけるパフォーマンス課題

○今年度来日した ALT と、「自分の好きなこと（好きな食べ物）」等の話題に関するやり取りを行うことができる。

—条件—

- ・「自分の好きなこと（好きな食べ物）」等について ALT とやり取りを行う。
- ・相手の考えや気持ちを聞き出したり、聞いたことについて感想を伝えたりする。

—手立て—

- 意見や理由をつけて伝える表現は、ペアワークで十分練習させる。
- 帯活動でのチャットを通して、会話を続けるための表現を繰り返し練習させる。
- ハードルを高くしすぎず、ほとんどの生徒が頑張れば達成できる評価基準を設定する。

パフォーマンス課題・評価

パフォーマンス課題：ALT 交流会で自分の身近なことについて ALT に伝えることができる。 評価規準：イ 外国語表現の能力 自分の身近なことを意見や理由をつけて伝えることができる。 評価基準：意見や理由を付けて伝えるだけでなく、相手の考えや気持ちを聞き出したりするなどのやりとりができる。 お題：好きな食べ物について		
A(十分満足) ・自分の身近なことを意見や理由をつけて話している。 ・相手の考えや気持ちを聞き出したり、聞いたことの感想を伝えたりしている。	B(おおむね満足) ・自分の身近なことを意見や理由をつけて話している。 ・相手の考えや気持ち聞き出している。	C(努力を要する) ・自分の身近なことを話すことはできているが、意見や理由をつけることができていない。 ・相手の考えや気持ちを聞き出すことができていない。
ALT: Please tell me about yourself. I'm interested in Japanese food. What Japanese food do you like? S: I like sushi because I like fish. How about you? ALT: Yes, I do. I like it a lot. S: Oh, I see. Why do you like it? ALT: I like fish, too. I like tuna because it's delicious. S: I think so, too. By the way, what are you going to do next Sunday? ALT: I have no idea. S: I'll have a sushi party at my house. If you're interested, please come to my house. You can eat delicious food here! ALT: Thank you. S: You're welcome.	ALT: Please tell me about yourself. I'm interested in Japanese food. What Japanese food do you like? S: I like sushi because I like fish. Do you like sushi? ALT: Yes, I do. I like it a lot. S: Why do you like it? ALT: I like fish, too. I like tuna because it's delicious. S: I'll have a sushi party at my house. If you're interested, please come to my house. You can eat delicious food here! ALT: Thank you. S: You're welcome.	ALT: Please tell me about yourself. I'm interested in Japanese food. What Japanese food do you like? S: I like sushi ALT: Me, too. I like it a lot. S: I like tuna. ALT: Me, too. It's delicious. S: I often go to sushi shop. ALT: Thank you. S: You're welcome.

指導と評価の計画

(全12時間)

次	学習内容	評価規準	評価方法
1 本 時	○単元の目標を確認する。 今年度来日した ALT から学校へ届いたメッセージを紹介する。 「12月に培遠中学校へ訪問することになりました。あなた自身のことや日本のことについて教えてください。」 ・表現活動に必要な単語を理解する。 ・聞き手に「もっと会話がしたい」と思わせるポイントを確認する。 ・ループリックを用いて自分にとって大切なことを考える。	アの①	活動の観察 ワークシート
2	○Starting Out : ・新出単語を理解する。 ・接続詞 (if) を理解する。 ・if を使って会話を広げる練習をする。	エの①	ワークシート 後日ペーパー テスト

3	<p>○Starting Out :</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を通して、接続詞 (if) を用いたやり取りに慣れる。 教科書本文の内容理解・音読を行う。 	エの①	活動の観察 ワークシート
4	<p>○Dialog :</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出単語を理解する。 接続詞 (that) を理解する。 I think that を使って会話の感想を伝える練習をする。 	エの①	ワークシート 後日ペーパー テスト
5	<p>○Dialog :</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を通して、接続詞 (that) を用いたやり取りに慣れる。 教科書本文の内容理解・音読を行う。 教科書本文の Retelling 活動を行う。 	エの①	活動の観察 ワークシート
6	<p>○Read and Think① :</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出単語を理解する。 接続詞 (when) を理解する。 when を使って自分のことを紹介する練習をする。 	エの①	ワークシート 後日ペーパー テスト
7	<p>○Read and Think② :</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出単語を理解する。 接続詞 (because) を理解する。 because を使って自分のことを紹介する練習をする。 	エの①	活動の観察 ワークシート
8	<p>○Read and Think① :</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いす体験の感想を読み、接続詞 (when) の使い方に慣れる。 教科書本文の内容理解・音読を行う。 教科書本文の Retelling 活動を行う。 	エの①	ワークシート 後日ペーパー テスト
9	<p>○Read and Think② :</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインについての発表を聞き、接続詞 (because) の使い方に慣れる。 教科書本文の内容理解・音読を行う。 	エの①	活動の観察 ワークシート
10	<p>○Read and Think② :</p> <ul style="list-style-type: none"> お題を用意し、お題に対して接続詞を使って自分の意見や理由をつけたやり取りを行う。 	アの①	活動の観察 ワークシート
11	<p>○ALT とのやり取りに向けて、生徒同士で考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> デモンストレーション等を行い、他の生徒からアドバイスをもらう。 他の生徒からのアドバイスを基に、自分の考えをさらに深める。 	アの①	活動の観察 ワークシート
終末の言語活動	<p>○今年度来日した ALT を授業へ招き、自分の好きなこと (好きな食べ物) についてのやり取りを ALT と行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見や理由をつけさせる。 相手の考えや気持ちを聞き出したり、聞いたことについて感想を述べたりさせる。 交流会を終え、オーストラリアの学校とのやり取りに向けて ALT からアドバイスをもらうようにする。 	アの① イの①	活動の観察 スピーキング テスト

本時の学習

- (1) 本時の目標 ペアワークにおいて間違うことを恐れず積極的に自分の考えを話している。
 (2) 観点別評価規準 アの①ペアワークにおいて間違うことを恐れず積極的に自分の考えを話している。
 (3) 準備物 ワークシート、テレビ、タブレット
 (4) 学習の展開

学 習 活 動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)	
1 あいさつ	◇Student Teacher によるあいさつと質疑応答をさせる。		
2 Chat	◆Chat を通して、会話に必要な表現を練習させる。		
Today's goal 1分間ペアで会話を続けてみよう。			
3 ALT からのメッセージを紹介する。	◇メッセージから、新しく来た ALT と交流することを知り、活動に意欲を持たせる。	【ア①】 ペアワークにおいて間違うことを恐れず積極的に自分の考えを話している。 ☆活動の観察 ☆ワークシート	
4 モデル会話を聞く。	◇新しく来た ALT と交流する際のモデル会話を聞く。		
5 会話練習をする。	◇好きなこと (好きな食べ物) についてのテーマを設定し、ペアで会話練習をさせる。どれくらい話せるか自分のレベルを確認させる。 →会話を続けることの難しさに気付かせる。		
6 もう一度モデル会話を聞く。	◇どのようなキーワードがあると会話が続き、相手により詳しく伝え方ができるのかポイントを見つけさせる。(個人→ペア) →意見や理由をつける (I think, because など) が必要		
7 単元の目標をルーブリックを活用して確認する。	◇ルーブリックを用いて、自分の位置と目標を意識させ、終末の言語活動に向けて意識していくことを確認させる。		
8 評価カードの記入をする。	◇自己評価カードに記述させる。		
会話を続けるためにはどんなことが必要だろうか。			
	◇次時の予告と課題の確認を行う。		